

# あっという間にショック

諏訪中央病院

循環器科

若林禎正

# 症例 69歳女性

主訴：突然の呼吸困難 心窩部痛

Profile：悪性リンパ腫；CHOP-day3

既往歴：糖尿病(HbA1c6.8) 高血圧  
子宮外妊娠(手術) 子宮脱(手術)

内服薬：アマリール® アムロジピン® ホグリホース®

# 現病歴①

2月下旬

胸やけ、腹部膨満感、食欲低下、体重増加。

3月1日

近医を受診。心窩部に腫瘤、腹水を指摘。

同日当院に紹介受診し精査目的に入院。

3月3日

胸腹部造影CTを施行。

# 腹部造影CT

左右副腎腫瘤、腹膜播種、肝浸潤、腹水貯留  
腹腔内リンパ節腫脹、心膜播種、右乳房下腫瘤

\* 画像供覧

## 現病歴②

### 入院後

3回腹水穿刺施行。

(3/4: 750ml、3/5: 3000ml、3/8: 3000ml)

入院時より軟便傾向。

### 3月5日～

1日3～5回の軟便、水様便。

### 3月6日

腹水よりリンパ腫疑いとなり、右乳房下腫瘤を生検。

細胞診からリンパ腫と診断。

### 3月8日

状態の悪化が予測されるため化学療法(CHOP)を開始。

# 現病歴③

3月9日

朝、水様性の下痢。

夕方から軽度咽頭痛。元気だった。

3月10日

朝、ポータブルトイレで下痢。

いつも通り看護師と会話をした。

トイレ後5分・・・

看護師が検温に行くと

心窩部痛と呼吸困難を訴え、うずくまっている

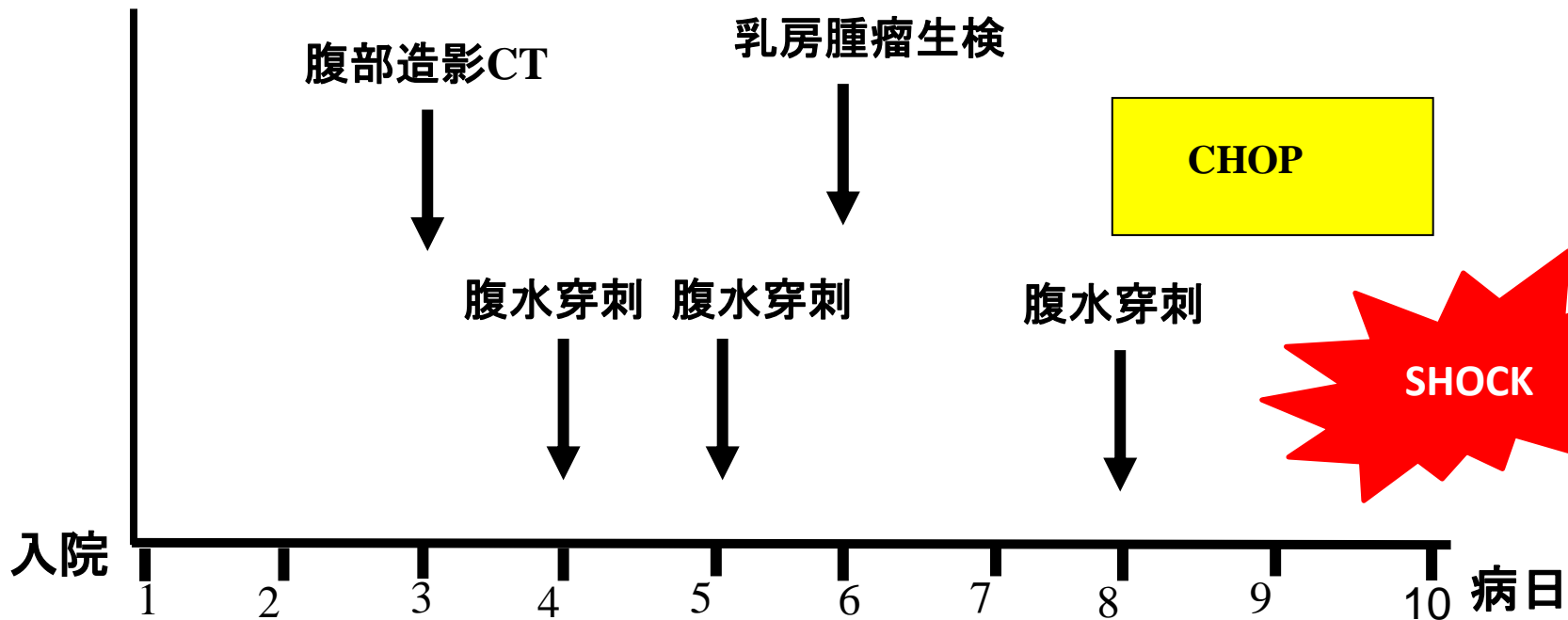
悪寒戦慄あり

SpO<sub>2</sub>87%、血圧120台、脈拍90回/分、体温36.8℃。

主治医に連絡。

# 経過

悪性リンパ腫と診断



軟便⇒水様下痢



咽頭痛



# 身体所見

不穏、錯乱状態 身悶えしている

急速なバイタルサインの変動

SpO<sub>2</sub>: 87% → 測定上60%台 → 気管挿管 → 90% (FiO<sub>2</sub>; 1.0)

血圧: 110台 → 60台

脈拍: 90 → 140/分まで上昇

体温: 36.8°C → 38°Cまで上昇

口腔内・咽頭: 全体に発赤 後鼻漏

胸部: ラ音なし 心雑音なし

腹部: 著明に膨隆 上腹部に軽度圧痛あり

四肢・体幹: 全体に発赤し暖かい



# 検査結果

胸部レントゲン: 浸潤影・肺うっ血なし

胸腹部造影CT: 肺塞栓像なし

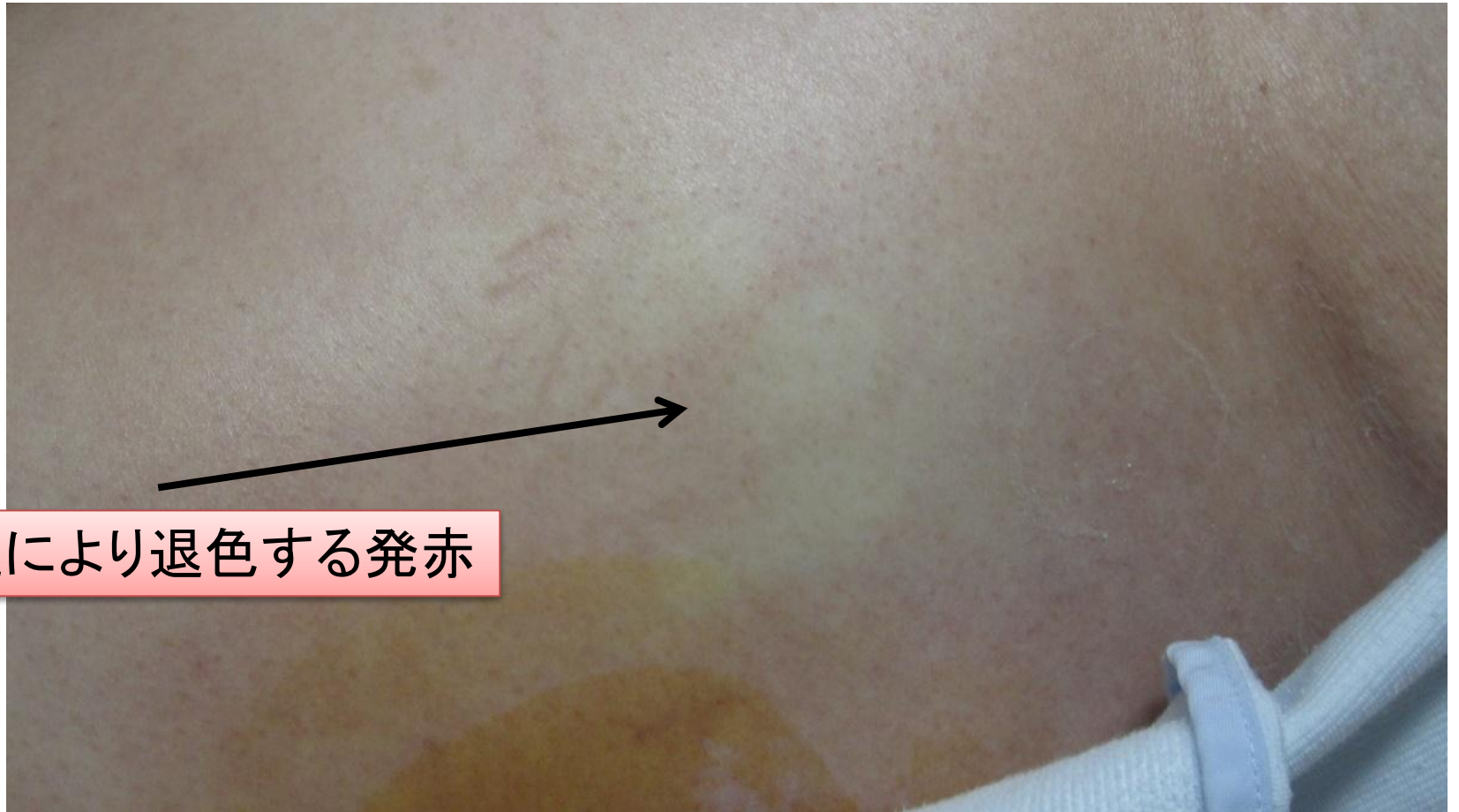
他入院時と著変なし

腹水検査:

グラム染色: グラム陽性連鎖球菌

経過: 多量の補液(10L/17時間)、高容量のカテコ  
ラミン投与にもよらず進行するショック

# 決め手はこの所見！



圧迫により退色する発赤

white island in the red sea